

近年、急速に増えてきた都市公園のリノベーションプロジェクト。 公園は、高度経済成長期以降の新設、そしてそれら施設のマネジ メントの時代を経て、リノベーションの時代に入った。

だからこそ、今後はこの公園リノベーションをいかに計画的に進めていくか、が問われている。

しかし、このリノベーション事業の計画手法はまだ確立しておらず、現実はどこも手探りの状態である。

本書は、公園リノベーションに行政、計画設計、施工、管理運営、 そして研究の各方面から関わった著者陣が、その経験をもとに公園 リノベーションを「計画的に進めていく手法」を具体的に提案す る。

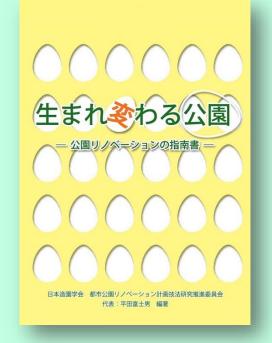
日本造園学会 都市公園リノベーション計画技法研究推進委員会 代表 平田富士男 編著 (兵庫県立大学大学院/淡路景観園芸学校 教授)

発行:デザインエッグ(株) A5 版 236 ページ

本書は一般書店では販売しておりません。Amazon ,楽天からのみ購入いただけます。下記 URL あるいは 右の QR コードから販売ページへお入りください。

Amazon: https://www.amazon.co.jp/dp/4815038929?tag=myisbn-22

楽天ブックス: https://books.rakuten.co.jp/rb/17670409/







## 目 次

## I 公園リノベーションを「俯瞰的に」とらえる

第1章 公園を取り巻く時代感覚をつかもう! ~計画的公園リノベーションの時代へ~

第2章 都市のグランドデザインに盛り込もう! ~全市の公園を見据えたリノベーション・マスタープラン~

第3章 大規模公園の事業プロセスから学ぼう! ~上野恩賜公園再生事業の取り組みとその成果~

第4章 公民連携の萌芽を見極めよう! ~身近な公園の課題と公民連携リノベーションの萌芽~

#### Ⅱ 公園リノベーションから「まちづくりに」ひろげる

第5章 まちづくりの花形として取り組もう! ~まちづくりと身近な公園のリノベーション~

第6章 縦割りを乗り越えて小さな広場をインクルーシブに変えよう! ~都立砧公園「みんなのひろば」の取り組みから~

第7章 管理運営からフィードバックする仕組みをつくろう! ~新宿区立新宿中央公園の管理運営とリノベーションの計画~

第8章 まちづくりを公園から広げよう! ~まちづくりに貢献する複数公園の一括指定管理手法とリノベーション~

## Ⅲ 公園リノベーションを「協働の力で」みちびく

第9章 造園業の資源を活かして仕掛けよう! ~地元の造園業が主体的に仕掛ける公園リノベーション~

第10章 事業マネジメントの連携体制を築こう!  $\sim$ 多様な業界との協働でプロジェクトを主導する取り組み $\sim$ 

第11章 エリアマネジメントへ展開させよう! ~ランドスケープ経営で公園リノベーションからエリアマネジメントへ~

第12章 未来への財産として記録をつなごう! ~計画的リノベーションのための都市公園資料等公文書保存の重要性~

第13章 関連する「制度」を使いこなそう! ~公園リノベーションを支援・促進する制度~

# 執筆者一覧(各著者の所属は発刊時のもの)

平田 富士男(ひらた ふじお) [はじめに、第1章、おわりに 担当] 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 教授

今西 良共 (いまにし よしとも) [第2章 担当] 岐阜県立国際園芸アカデミー学長

米田 剛行(よねだ たかゆき) [第3章 担当] 東京都建設局公園緑地部公園建設課長

町田 誠(まちだ まこと) [第4章 担当] 一般財団法人 公園財団常務理事

塚田 伸也 (つかだ しんや) [第5章 担当] 前橋市東部建設事務所長

竹内 智子(たけうち ともこ) [第6章 担当] 千葉大学大学院園芸学研究院准教授

平松 玲治(ひらまつ れいじ) 「第7章 担当] 一般財団法人 公園財団公園管理運営研究所開発研究部上席主任研究員

佐藤 留美(さとう るみ) [第8章 担当] 特定非営利活動法人 NPO birth 事務局長

礒脇 桃子(いそわき ももこ) [第8章 担当] 特定非営利活動法人 NPO birth 事務局次長

後藤 幸 (ごとう みゆき) [第9章 担当] 岩間造園株式会社 専務取締役

徳永 哲(とくなが さとし) [第10章 担当] 株式会社 STEP/株式会社ランドスケープむら代表取締役

萩野 一彦(はぎの かずひこ) [第11章 担当] 株式会社ランドプランニング代表取締役

橘 俊光(たちばな としみつ) 「第12章 担当」 株式会社空間創研執行役員

曽根 直幸(そね なおゆき) [第13章 担当] 国土交通省近畿地方整備局建政部公園調整官

本書は、2021 年 4 月日本造園学会のなかに設けられた「都市公園リノベーション計画技法研究推進委員会」における議論をもとに、各著者がその実務経験等に基づき執筆したものです。この研究推進委員会の設立趣意は以下のとおりです。

本研究推進委員会の目的は、これまでの一般的な新設公園の計画の技法とは、異なるリノベーションの計画技法を体系的に明らかにしていくことである。我が国の都市公園事業は、新設・面積拡大 → マネジメント、長寿命化の時代を経て、ストックの機能を最大化させる「リノベーション」の時代に入った。都市公園の新設事業は今後減少の一途をたどるなか、ランドスケープ界における事業量を維持していくためには、「リノベーション」を確実に事業化し、その事業を着実に推進し、都市公園の機能をさらに高め、都市施設としてより一層評価されるものにしていく必要がある。

しかし、都市空間のなかで足りないところを探して、そこをランドスケープ技法で埋めるという新設の事業とは異なり、すでに空間としてはランドスケープ施設で埋められているところを作り替え、新たな機能を発揮させていくリノベーション事業は、どのような計画手法で事業化の対象地を選定し、どのように計画内容を検討し、どのように実現していくのか、体系的に確立したものがない。

そこで、本研究推進委員会では、今後の都市公園事業における比重が増すリノベーションの計画技法を体系的に明らかにしていく ことに取り組んでいく。